（様式１－１）

学校番号	中等2	学校名	茨城県立並木中等教育学校

令和7年度道徳教育全体計画

諸法規

・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・学習指導要領
・本県教育目標
・学校教育指導方針

校訓

自制・自律・自尊

生徒の実態

・全校生のほとんどが進学希望であり、前向きな姿勢で全ての活動に励んでいる。

・概ね基本的な生活習慣は確立されており落ち着いた態度である。

・学校行事に積極的に取り組み、創意工夫して活動することができる。

学校の教育目標

・様々な体験を通して広く人間教育を行う学校
・筑波研究学園都市の一角に位置するという地域性を生かし、大学や研究機関と連携して科学教育を行う学校
・外国からの研究者・留学生との交流や海外語学研修などを通して、国際理解教育、コミュニケーション能力育成教育を行う学校

保護者の願い

大学進学を希望する生徒・保護者が多く、その進路実現のための対策を期待する声が多い。

道徳教育重点目標

・基本的生活習慣を確立し、節度を守り節制に心掛け、心身の調和のある生活の実現を目指させる。
・他の人々の立場を尊重し、感謝と思いやりの心をもって人と接することができるようにさせる。
・生命の尊さを深く理解し、かけがえのない自他の生命を尊重できるようにさせる。
・集団の意義についての理解を深め、役割と責任をもち、他者との協力関係の向上に努めさせる。

地域の実態

筑波研究学園都市の玄関口にある進学校として地域の期待は大きい。

各教科・科目

国語	互いの立場や考えを尊重しながら言葉で伝え合う力を高める。
社会	自由・権利と責任・義務との関係を正しく認識し、公正に判断しようとする公民的資質の基礎を養う。
数学	事象を数理的に考察し、筋道を立てて考え、表現する能力を高める。
理科	生物相互の関係や自然界の釣り合いについて考え、自然と人間の関わりを認識する。
音楽	音楽を愛好することで、美しいものや崇高なものを尊重する態度を育てる。
美術	創造する喜びを味わうことで、美しいものや崇高なものを尊重する態度を育てる。
保健体育	運動をすることを通して、粘り強くやり遂げ、ルールを守り、集団に協力する態度を養う。
技術家庭	生活に必要な知識、技術を習得することで、望ましい生活習慣を身に付け、勤労の尊さや意義を理解する。
外国語	我が国や外国の言語や文化に対する理解を深め、国際的視野を広げる。

各学年ごとの指導の重点

1年
・衝動的になりやすい自分自身の在りように目を向け、自立できるよう、望ましい生活習慣を身につける。
・他の人の立場を尊重しながら思いやりの心をもって接する。
・自分の所属する集団の在り方を十分理解し、自己の役割と責任を自覚するとともに協力し合って集団生活の向上に努める。

2年
・自らを振り返って正すべきところは正しつつ、絶えず自己を高めようとする。
・ともに語り、悩み、共感し、そして励まし合い高め合うことのできる友情を育てる。
・不正を憎み、不正な言動を断固として否定することにより、差別や偏見のないよりよい社会の実現に尽くすように努める。

3年
・絶えず理想を求め、目標をもって着実に努力する。
・異性に対する理解を深め、信頼と敬愛の念を育み、互いに向上していこうとする。
・世界の中の日本人としての自覚をもち、外国の人々や異文化に対する理解と尊敬の念を重視し、世界の平和と人類の幸福に貢献するように努める。

特別活動

・学校行事の際には、実行委員を設置し、生徒による企画・運営を推進させる。

・ウォークラリーやスポーツデー、部活動に参加することにより、心身の鍛練をするとともに、いたわりや助け合いの精神を育む。

総合的な学習の時間

・横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自己の生き方を考えることにつなげる。

・主体的に判断して、粘り強く考え解決する資質や他者と協働して生活しようとする態度を養う。

道徳の時間の指導方針

・教育活動全体で行う道徳教育を補充・深化・統合する。
・道徳的価値及び人間としての生き方について自覚を深める。
・生徒一人一人の道徳的心情を豊かにし、道徳的判断力を高め、道徳的実践意欲と態度の向上を目ざす。
・体験的な活動と密接に関連させ指導する。
・ティームティーチングや役割演技、写真・VTR の使用、保護者や地域の人材の活用など創意工夫ある指導をする。

生徒指導

・あいさつなどの生活習慣を身につけさせ、他人との協調性を養い、自己実現を目指す。

・安全教育の推進を図り、自己防衛の意識・自己管理の育成を目指す。

特色ある教育活動や体験活動

・学校行事の際には、実行委員を設置し、生徒による企画・運営を推進させる。

・ウォークラリーに参加することにより、心身の鍛練をするとともに、いたわりや助け合いの精神を育む。

学級・学校の環境の充実・整備

・SSHの3期目指定を受け、STEAM教育の導入、地域の研究機関の設備や研究員の活用を通して、様々な場面で活用できるよう教育環境の質的向上を図る。
・縦割り清掃班活動により、異年齢集団としての交流を図るとともに、学校施設の環境美化に対する意識を高める。
・スクールカウンセラーを配置し生徒の心の理解につとめる。

家庭・地域社会などとの連携

・保護者関係諸機関との連携を密にし、問題行動の未然防止を目指す。

・学校、学年、学級だよりなどにより、学校での様子を知らせていく。